

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：齊藤 親

事業名	京浜急行本線(平和島駅～六郷土手駅間)及び同空港線(京急蒲田駅～大鳥居駅間)連続立体交差事業			事業区分	街路	事業主体	東京都
起終点	自(本線)大田区大森北六丁目(空港線)大田区蒲田二丁目 至(本線)大田区仲六郷四丁目(空港線)大田区西糺谷四丁目					延長	6.0km
事業概要	本事業は、平和島駅から六郷土手駅までの全長4.7kmの本線と京急蒲田駅から大鳥居駅までの全長1.3kmの空港線を連続して立体交差化し、環状8号線や第一京浜を含む28箇所の踏切を除却することで、交通渋滞や地域分断を解消するとともに、安全で快適なまちづくりを行い、沿線地域の都民生活と都市活動を向上させる。						
H12年度事業化	H11年度都市計画決定	H13年度用地着手	H13年度工事着手				
全体事業費	1318億円	事業進捗率	9%	供用済延長	0km		
踏切遮断交通量	97万台時/日						
費用便益分析結果	B/C(事業全体) 2.9	総費用(事業全体) 1,089億円 事業費: 1089億円 維持管理費: 億円	総便益(事業全体) 3,146億円 走行時間短縮便益: 2766億円 走行経費減少便益: 380億円 交通事故解消便益: 0億円 高架下利用便益: 0億円	基準年 平成15年			
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 環状8号線、国道15号等を含む28箇所の踏切がなくなり、交通渋滞が解消される。 踏切事故がなくなり、道路と鉄道の安全性が高まる。 高齢化社会に対応して、関連事業により各駅周辺に駅広、アクセス道路、駐輪場等が整備されることにより、バス・車・自転車への乗り換え利便性が高まり、シームレスな交通体系の構築に寄与する。等 						
関係する地方公共団体等の意見	本事業により、環状8号線、国道15号などの慢性的な交通渋滞の解消が図られるとともに、鉄道による隔てられた地域の一体化が実現し、沿線のまちづくりに大きく寄与することから、大田区からも早期完成の要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	除却する踏切28箇所のうち、環状8号線や国道15号などでは、慢性的な渋滞を引き起こしており、状況はますます深刻化している。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成12年に事業認可を取得し、用地については、現在、約21%を取得している。引き続き残17,050㎡の取得を鋭意進めていく。工事については、京急蒲田駅舎の移設工事や仮線工事を実施している。引き続き、仮線工事や本設高架橋の建設を進めていく。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業効果早期発現のため、環状8号線の踏切を連立事業の完成に先立ち仮鉄道橋により立体化する予定。						
施設の構造や工法の変更等	一部の区間において、工事施工方法を仮線工法から直接高架工法に変更することにより、事業全体の完成を約2年間前倒しする予定。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものとす。